



平成30年11月13日

各 位

会 社 名 株式会社 ユニバンス
代表者名 代表取締役社長 谷 典幸
(コード番号7254 東証第2部)
問合せ先 常務執行役員 曾布川 守男
(TEL. 053-576-1311)

**通期業績予想の修正、
剰余金の配当（中間配当）および期末配当予想の修正に関するお知らせ**

当社は、平成30年11月13日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、平成30年8月9日に公表しました平成31年3月期(平成30年4月1日～平成31年3月31日)の連結業績予想について修正することとしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、同取締役会において、下記のとおり平成30年9月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）を行うことについて決議し、併せて平成31年3月期の期末配当予想について修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 通期業績予想の修正

平成31年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-------------------------|---------------|--------------|------------|-------------------------|----------------|
| 前回発表予想（A） | 百万円 57,000 | 百万円 1,150 | 百万円 850 | 百万円 750 | 円 銭 36.00 |
| 今回修正予想（B） | 58,000 | 1,500 | 1,100 | 1,000 | 48.01 |
| 増減額（B－A） | 1,000 | 350 | 250 | 250 | |
| 増減率（%） | 1.8 | 30.4 | 29.4 | 33.3 | |
| （ご参考）前期実績 （平成30年3月期） | 58,729 | 810 | 518 | 356 | 17.10 |

<修正の理由>

主に、タイおよび日本本社のユニット事業における売上高増加影響により、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益が前回発表予想に対して大きく上回る予想となります。

2. 剰余金の配当（中間配当）および期末配当予想の修正

(1) 剰余金の配当（中間配当）の内容

| | 決定額 | 直近の配当予想 (平成30年8月9日公表) | 前期実績 (平成30年3月期) |
|----------|-------------|--------------------------|--------------------|
| 基準日 | 平成30年9月30日 | 同左 | 平成29年9月30日 |
| 1株当たり配当金 | 円 銭 4.00 | 円 銭 3.00 | 円 銭 3.00 |
| 配当金総額 | 83百万円 | — | 62百万円 |
| 効力発生日 | 平成30年12月11日 | — | 平成29年12月11日 |
| 配当原資 | 利益剰余金 | — | 利益剰余金 |

(2) 期末配当予想の修正の内容

| 基準日 | 1株あたり配当金 | | |
|-------------------------|-------------|-------------|-------------|
| | 第2四半期末 | 期末 | 合計 |
| 前回予想 (平成30年8月9日) | 円 銭 3.00 | 円 銭 3.00 | 円 銭 6.00 |
| 今回修正予想 | | 4.00 | 8.00 |
| 当期実績 | 4.00 | | |
| (ご参考)前期実績 (平成30年3月期) | 3.00 | 3.00 | 6.00 |

<修正の理由>

当社は、継続的な安定配当を基本方針とし、経営上の最重要課題のひとつとして位置付けております。

平成31年3月期の剰余金の配当につきましては、上記の基本方針ならびに最近の業績動向を踏まえ、中間配当を1円増配し1株あたり4円とし、期末配当予想を1円増配し1株あたり4円に修正いたします。これにより年間配当金予想は、1株につき2円増配の8円となります。

※上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以上